

アベ政治を
許さず

参議院議員（比例代表）

2015年8月4日 Vol.5

あなたにや正義

安保法制関連ニュース



無責任発言と総理の憲法観を追及

昨日、参考人招致された磯崎補佐官について、質問に立った小川勝也議員は、「自分も補佐官を経験した。自ら身を引くべきだ。安倍総理は罷免するつもりはないのか」と安倍総理を質しました。

安倍総理は、「昨日、説明とお詫びをし、私からも誤解を与えるような発言はつつしむよう注意をした。今後もしっかりと職務を果たしてもらいたい」と答え、罷免する意向はないと表明しました。この問題については、他の野党からも質問要求があり、小川議員は今後委員会において質疑を設定するよう委員長に要求しました。

また、武藤貴也議員（自民）が SEALDs の主張を「極端な利己的考えに基づく」等と発言していることも取り上げ、「とんでもない発言。表現の自由はもとより基本的人権も尊重されるのは当然である。これはどう対処されるのか」と質したところ、安倍総理は「詳細には読んでいないが、党のことは幹事長に任せている」と述べるのみでした。

続いて質問に立った櫻井充議員は、安倍総理が衆院憲法調査会（2000年5月11日）で「『強制のもとで（中略）できた憲法を私たちが最高法として抱いているということが、日本人にとって、心理に大きな、精神に悪い影響を及ぼしている』『前文は全く白々しい。前文から全面的に見直す必要がある』」と発言している。総理はどのような点でそう考えているのか」と指摘。安倍総理は、「GHQ の 25 人によって短期間で作られた憲法であるのは間違いない。私たちがどういう憲法を作るのがいいか議論するという意味であり、もっと主体的に前文が書かれるべきであるとの思いで発言した」と苦しい答弁に終始しました。

また外国での邦人救出の際に自衛隊が防護する例をあげて、中谷大臣が衆院日米防衛協力のための指針に関する特別委（1999年3月18日）で「ガイドラインに米軍による邦人救出を入れて、米国が実施する項目でお願いをしていたが、最終的にはアメリカから断られた」と発言していたことを指摘しました。中谷大臣は「97年のガイドラインには邦人救出もかかっている。それ以降は日米共同訓練においても行っており、今回のガイドライン改定においても明記され、日米間で合意もされている。」と答弁がありました。

また、自衛隊員のリスクについて、「機雷の除去や後方支援でも危険性が高い。安倍総理は著書で『日本がもし攻撃を受ければ、アメリカの若者が血を流します。しかし、今の憲法解釈のもとでは日本の自衛隊はアメリカが攻撃された際に血を流すことはない。これで完全なイコールパートナーと言えるでしょうか』と書いている。これは自衛隊に『血を流せ』と言っている」と指摘。安倍総理は「決して自衛隊に血を流せと言っている訳ではない」と強弁しました。

あなたにやの「今日の一言」

官邸内の法案担当者である補佐官の責任を何もとれず、法案そのものの安定性を欠いたまま審議が続いています。

一方で安倍政権の本性を表す内容の言葉が、衆議院の若手から発せられ、ますます国民を不安に陥れています。

今回の法案がいわゆる「詰め」の状態であるエビデンスとも言えます。何としても「投了」させたいと思っています。

今後の特別委・開会予定

8月5日(水) 10:00～17:00

6日(木) 開会予定(開会、質疑時間未定)

明5日(水)は11時9分頃～白眞勲議員が、13時～藤末健三議員がそれぞれ質問に立つ予定です。審議中継はネットのみです。

6日(木)は開会予定ですが詳細は決まっていません。7日(金)は衆院予算委員会が予定されており、特別委員会は開会されない予定です。

発行：参議院議員 あなたにや正義 事務所

〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1

参議院議員会館 409 号室

TEL: 03-6550-0409

FAX: 03-6551-0409

masayoshi_natania@sangiin.go.jp

http://natania.jp/